

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

公表:平成 31 年 3 月 28 日

記入年月日:平成 31 年 3 月 14 日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		動的(1階)、静的(2階)フロアと分かれてはいるが、運動室室が広くはないために、屋外(公園等)活動を取り入れながら工夫しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			支援のなかで、児童3人につき支援者1人を配置基準として配置数を割り出しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		会談は手すりを設置するなどの設備を施しているが、その他の段差に対する配慮・改善等はしていない。肢体不自由児童が居ないために工夫はしていません。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			目標をもった支援と自己啓発に向けての意識と心得を日々、実施しており、現状をより良くするための工夫を続けている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年に一度、保護者等向け評価表を用いて、アンケート調査を実施しつつ、保護者からの情報を得たり、事業所の活性化と安全に繋ぐことが出来ている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			アンケート結果をまとめ、全保護者への周知情報として情報共有をし、現状の把握をしてもらいながら、状況改善に向けて施策している。又、グループHPIに記載している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		あくまでも事業所評価(代表評価)・保護者評価で留まっており、第三者からの評価としては、同グループ内での評価のみになっている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			グループ本部研修や事業所研修・市・県からの研修、講習会の参加、事業所での定例勉強会の実施を行い、指導員の資質向上に取り組んでいる。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			契約前にアセスメントをとり、年度初めに簡単なアセスメントをとるようにしている。又、モニタリング時に相談・助言等を行い、情報共有と共通理解を得ている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			契約前にアセスメントをとる、児童の状況、様子等に変化があれば、常に聞き取りや連携をとれるように保護者との話す時間・指導員で集まり話す時間を設けている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎月、正職員で打合せを行っている。案などは、非常勤スタッフからも提案を受けている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			毎月の事なので、イベントのマンネリ化をしないように、定期的に新しい(初めての)イベントを取り入れたりしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			支援方法・統一支援、声掛け、共有事項などを確実に伝えあい、共通理解をできるようにしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別活動・集団活動を児童・状況(場面)に合わせて活動を行っている。時には、時間配分をみながら児童支援に充てている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援方法の確認や前日の児童の様子確認を含めたミーティングを行い、支援の質を見直しながら午後(サービス提供時間)に繋げていくようにしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			特に何か変化のあった事について話し合い、振り返りや他者意見等を聞くなどし、今後の改善方法を決めたり、全スタッフ情報共有できるようにまとめたりしている。

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		児童の言動、指導員の言動をありのまま記載することで、その時の状況を他者に知らせながら、全スタッフで情報共有と共通認識と今後の支援方法を決定していく施策をとっている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		最低でも6か月に一度、モニタリングを実施し児童の現状や今後の支援方法・対応の仕方等、保護者との間で共通理解と情報共有、統一支援などを話し合っている。新たに支援する計画についても、支援方法や用具の必要性等も考慮して計画を作成している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		ガイドラインに沿った業務遂行を実施している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童の関わる関係機関が集まり、(保護者含む)会議を実施している。 場合によっては、児発管のみならず指導員も帯同して行っている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		常に担任の先生との情報共有や相談・提案等の連携をし、事によっては担当者会議の開催を実施している。学校での過ごし方やデイでの過ごし方家族支援方法など、話し合っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		今現在は、医療的ケアの必要がある児童はいないが、今後、受け入れる場合には、連絡体制をつくり、児童の通所に何も問題の起きないよう配備していく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		情報共有と支援内容を受けたり、今後の支援方法としての情報共有と連携を強めていくことが出来るように働きかけながら、児童の個別支援内容に反映している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		今現在は、まだ実施した例がないが、今後状況に合わせて情報共有や支援提供等を実施する方向である。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		中村区児童部会での研修やその他専門機関の先生方からの助言やアドバイス等を受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○		定期的に事業所前の公園に出向くことで、知る顔も増えているなかで、共に遊ぶなどをして遊びの共有する時間を設けている。 イベントとして活動はしていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		月に一度の中村区児童部会への参加をしている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		日々の送迎時において児童の様子や変化について話をすることで、共通理解を得ている。 場合によっては、児発管からの助言や説明、電話やメールでのやりとりなどを実施している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		送迎時の直接的に話をする機会やメールでのやりとり、必要時には事業所内相談を受けながら、蜜に連携を図れるように取り組んでいる。また、伝え方の観点で相違がないように配慮をしながら保護者様に合わせた話し方もしている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約前に話していくことと、変更や書類配布時に適切な説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		相談等があれば迅速、且つ適切に対応するように職員周知と、場合により学校や専門機関との担当者会議の実施をし、複数の人達からの視点や児発管としての意見を交えながら、助言・支援を行っている。

保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	定期的な「ママ会」等を実施し、保護者同士の情報共有や関わりをもつことでのメリットを伝えながら、参加を促している。外部での活動はない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○	苦情などがあった場合には迅速、且つ適切に対応をし、すぐに職員周知と改善・対策、代表への報告等をし、必要があれば、市への報告と全保護者への周知を実施している。 又、場合によってはグループ代表への報告を行う。 全保護者様への周知を今後、行っていきたい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		グループ案内や事業所行事予定等、保護者との連絡は常にできる状態で、連携をとっている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		個人を特定できるような情報を漏らさぬように配慮と職員周知を徹底している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		常に電話・メールでのやりとりや直接的に話をするなどで常に保護者の不安・悩みを取り除くための連携と配慮を重ねている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	地域住民の方の行事参加は今のところ、行えていないが、今後の目標として催しの開催を目指している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	契約前の説明と感染に至らぬよう、発症が見つかった時点で、保護者への周知と事故・衛生管理に関しての情報共有をじとっている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		月に一度の避難訓練と職員の救命講習への受講を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		定例勉強会や日頃の支援について、確実に全員で周知徹底をして、未然に防ぐ策をとっている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		契約時に虐待防止策・身体拘束についての説明をするとともに、事業所内での活動と児童への配慮等がなされているか常に現場確認と計画書作成に反映されている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		アレルギーのある子に対しての、処置方法、注意すべき点を把握したうえで、対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットが起きた場合には、すぐに報告書を記入し職員で全体周知と対策・改善に向けて実施している。